

フィリピン地方行政学院との知識交流セミナーをオンラインで開催

シンガポール事務所

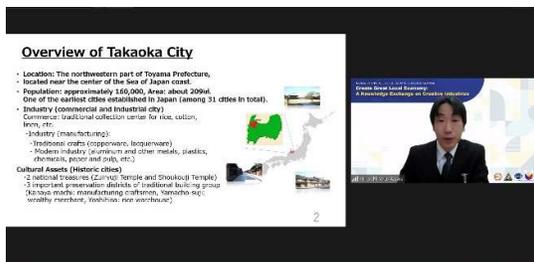
- (1) と き：2024 (R6) 年3月12日 (火)、13日 (水)
- (2) ところ：フィリピン地方行政学院 (Local Government Academy, LGA)
- (3) 出席者：日本及びフィリピンの地方自治体関係職員など 221 名 (オンライン)
- (4) 内 容

CLAIR シンガポール事務所は、フィリピン地方行政学院 (LGA) との共催で、日本・フィリピンの地方自治体職員を対象に知識交流セミナーを開催しました。これまで当セミナーは、日本・フィリピン双方の先進事例共有の観点から、日本のベストプラクティスをうい、ASEAN 諸国の課題解決のきっかけとするとともに、知識伝達型に終始せず、その後の自治体間交流にもつながる新たな場となることを目的としてきました。今年度は、Zoom によるオンライン形式で開催し、両国併せて 221 名に参加いただきました。

今回のセミナーでは「地方自治体における経済発展のための取り組み」をメインテーマに、「デジタルクリエイティブ産業」や「伝統文化産業」について、日本側とフィリピン側から先進事例の発表を行いました。フィリピン側からは、フィリピン代議院議員、バギオ市クリエイティブ協議会の会長がそれぞれ発表し、日本側からは、各テーマに関連して、福岡県北九州市からは、同市のフィルム・コミッション事業を紹介、富山県高岡市からは、漆器等の高岡市の伝統文化産業に関する取り組みを紹介しました。

フィリピンの受講者からは、組織や推進方策など日本の仕組みを適用する際に留意することはあるかといった質問が寄せられるとともに、高岡市の講師からは、伝統的な文化芸術都市としてのバギオ市の取り組みから大変刺激を受けたとのコメントも頂戴し、両国の優れた取り組みから学び、相互に新たな視点を得ることができる互いにとって非常に有用な機会となりました。

翌年度以降も同セミナーの開催を通じて、引き続き LGA との関係性を維持し、両国の地方自治体の施策等のさらなる充実にあ資するよう、取り組んでいきたいと思ひます。



高岡市による講演の様子



バギオ市による講演の様子

(長田調査役 兵庫県派遣)